



監修：
ICT CONNECT 21

「1人1台端末」時代—— 学びを保障するツールに

中村孝一

(NPO法人eboard代表理事/ICT CONNECT 21アライアンス団体会員)

NPO法人eboard(イーボード)は、「学びをあきらめない社会の実現」をミッションに、2011年より、映像授業やデジタルドリルなどのICT教材を活用し、経済的困難や不登校、地理的課題を抱える教育現場への支援活動を行ってきた。本稿では、「1人1台」の時代を迎えようとする中、私たちが活動の中で得た知見を、わずかながら共有させていただきたい。

🔌 ネットにつながれば「いつでも、どこでも」 学べる

私たちが学校にうかがう中で、多くいただく質問が「なぜ、

このような活動を始めたか」だ。貧困家庭や不登校の支援となると、多くは現場に根ざした学習や生活における困りごとの支援が一般的だろう。しかし、学校やNPOなどの学習支援の現場では、人や時間、お金といった資源が慢性的に不足している。それなら、学習の一部をいつでも、どこでもアクセスできるインターネット上に移してしまおうというのがeboardの活動の始まりだ。教えられるボランティアが足りない。学び直しに必要な時間が足りない。いつでも、どこでも、無料で学べる場所があれば、そんな課題を解決できるのではないかと考えた。

自由にアクセスできるeboardの映像授業は、これまでに200年分以上の学習時間を生み出してきた。中学までの内容が中心であることから、高校では定時制や通信制高校などでの学び直し、義務教育課程では不登校生徒の支援や、放課後等での学力サポートで利用いただくことが多い。中学校の最初から、場合によっては小学校から学び直したとしても、デジタル端末とネット環境があれば、いつでも、繰り返し学習に取り組むことができる。

🔌 個別化されると教師の役割が変わる

しかし、「ネット上に無料で学べる場所があれば、子どもたちの学習課題は解決すること」が不可能なことは、先生方にはすぐにご理解いただけるだろう。様々な課題を抱える生徒ほど、学習意欲や学習スキルが不足しており、そのための人的支援を

必要としている。そこで、eboardでは2013年より、どうすれば生徒たちの学習意欲や学習スキルを伸ばすことができるか、教育現場で実証を重ねてきた。もちろん、それぞれの現場に違いはあるが、生徒たちの変化が見られる現場や、継続的にeboardを「活用いただく現場で共通しているのは「人の役割の変化」だ。

生徒たちはeboardを利用して、自分のペースで学んでいく。わからないところがあれば、映像授業で確認する。これまで教科の指導で手一杯だったのが、学習の多くをeboardで代替できるようなると、教師や支援者は、学習意欲や学習スキルを伸ばすことに力が割けるようになる。一方で、効果を感じられない現場では、これまでの一斉授業・一斉学習の枠組みでeboardを活用されていることが多い。指示されたタイミングで端末を開き、指示された教科や単元を学習する。これでは、採点や回収などの手間は省けても、紙の教材の効率化でしかない。端末があることで、一人ひとりが自ら考えて学習範囲や時間を選択し、自分のペースで学習していく。こうした「学習の個別化」が起きて初めて、生徒は自分で立てた目標を達成できたという実感につながり、学習意欲や学習スキルにプラスに働いていく。

🔌 GIGAスクール構想——「1人1台」の意味

国のGIGAスクール構想が始動し、義務教育課程では1人1台の端末が整備されていくこととなった。高校教育においても時を経ずして、整備が進んでいくだろう。

しかし、そうした環境が整備されたとしても、教師が教える役割だけの一斉講義、さらに生徒はネットや端末に自由にアクセスできないとなれば、その意味や可能性は限られてしまう。もちろん、「これまでの授業の中でICTをどう使うか」を考えていくことで、授業を効率化したり、効果的にすることはできるだろう。しかし、今の高校生が社会の中核を担う時代は、今以上に、社会に出てからも学び続けなければ、有意義に働いていくことが難しい時代になる。基礎学力も思考力もコミュニケーション能力も必要だ。だが、それと共に社会の変化に伴って、「自ら学び続ける力」が最も大事な力となっていく。

だからこそ、教師は1人1台の端末を駆使して、学習の個別化を図り、生徒に学びを委ねていかなければならない。自ら学び続ける力を伸ばすには、生徒自身が自分で学ぶ経験を積み重ねていくしかないからだ。そして、学びが個別化されるからこそ、考えや意見が異なる人と協働する意味が生まれ、それを一つの集団としてまとめていく教師の役割が、いや、まして重要になるのではないだろうか。

※ICT CONNEXT21——「教育の情報化」に関係する皆さまにオープンな場を提供し、コネクトすることで教育を良くしていく団体。教育とICTについての情報を毎週メールマガジンで配信中！

